

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金、前受会費、預り金及び未払法人税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	27,100,544	26,232,741
振替預金(会費)	13,225,019	12,400,281
振替預金	3,376,872	3,447,872
普通預金	10,498,653	10,384,588
未収金	57,375	35,000
前払金	315,794	378,174
合 計	27,473,713	26,645,915
未払金	818,335	466,699
前受金	474,180	202,000
前受会費	4,359,900	3,673,800
預り金	15,213	1,704
未払法人税等	70,000	70,000
合 計	5,737,628	4,414,203
次期繰越収支差額	21,736,085	22,231,712

3. 予算額と決算額との差異が著しい科目及びその理由

- (1) 学術集会事業収入のうちシンポジウム収入において、決算は予算より増加した。
これは、予想より参加者が増加したためである。
- (2) 学術集会事業収入のうち講習会収入において、決算は予算より減少した。
これは、予想より参加者が減少したためである。
- (3) 広告料収入のうちシンポジウム論文集・プログラム収入において、決算は予算より増加した。
これは、広告料収入をシンポジウム収入に組み込んだためである。
- (4) 学会資料収入のうち英文論文集収入(R)において、決算は予算より増加した。
これは、雑収入の著作権料に集中させたためである。